

## カンサス州：小麦作柄と気象状況 2010年8月15日現在（生産量予想）

概況 カンサス州の2010年産冬小麦は、生育期の十分な土壌水分（適度な降雨）と成熟期の降雨と緩やかな気温上昇という気象環境下で、さび病を中心とした病害の発生を見たが、小麦の成熟はゆっくりと進み、澱粉蓄積には良い環境であった。作柄は昨年より豊作型であり、高単収、高容積重が期待されるが、半面低蛋白質が予想された。

USDAが8月12日に発表した8月1日現在の小麦生産量予想では、カンサス州の2010年産冬小麦の単位収量は7月1日予想と同じ45.0 bu/acre（昨年実績：42.0 bu/acre）と予想され、収穫面積が昨年より多少減少している為、生産量は昨年より幾分少ない369,000,000 bushels（約10,043千トン）と予想された。

Kansas Wheat Commissionの報告書では、NW地区では品種TAM 111の単位収量が70 bu/acreほどあり他の品種より良かったとのことであった。

全米の2010年産冬小麦の生産量は、1,522,902,000 bushels（約41,447.0千トン）と予想され略昨年並みの生産量であり、内Hard Red Winter Wheatは1,029,288,000 bushels（全冬小麦の67.6%）、Soft White Winter Wheatは214,977,000 bushels（全冬小麦の14.1%）と予想された。HRWは昨年比12.0%増、SWWは昨年比18.1%増の予想であった。

2010年8月1日付けUSDA冬小麦生産量予想

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2009	2010	2009	2010		2009	2010
				July 1	Aug 1		
Kansas	8,800	8,200	42.0	45.0	45.0	369,600	369,000
USA	34,485	32,085	44.2	46.9	46.9	1,522,718	1,522,902

以上